

8. 人的な事業推進体制の充実

協会は組織経営から事業推進まで幅広い場面に多くの市民が参画している。特に事業推進に直接関与するスタッフを「アソシエーター」（協会=Associationから作った造語）と呼んでおり、2016年度も、ボランティア（のべ168人、実数117人）と有給専従スタッフ（事務局員14人）が協働して事業推進に当たる体制「参加システム」で事業を進めた。具体的には、①個々の事業を企画推進する「チーム」「委員会」「事務局」を核に、②事業部門ごとに「運営委員会」を設け、さらに③経営全般を協議する「常任運営委員会」を開催。④「事務局員」が日常的に事業の「つなぎ役」となる他、⑤年2回、全体合宿（11月の「一泊創出会議」、2月の「事業計画会議」）を開催。アソシエーター全員の協議で事業や組織のあり方を決めるシステムをとり、自治的で開かれた形で運営を進めている。

1. 会員・寄附者の拡大

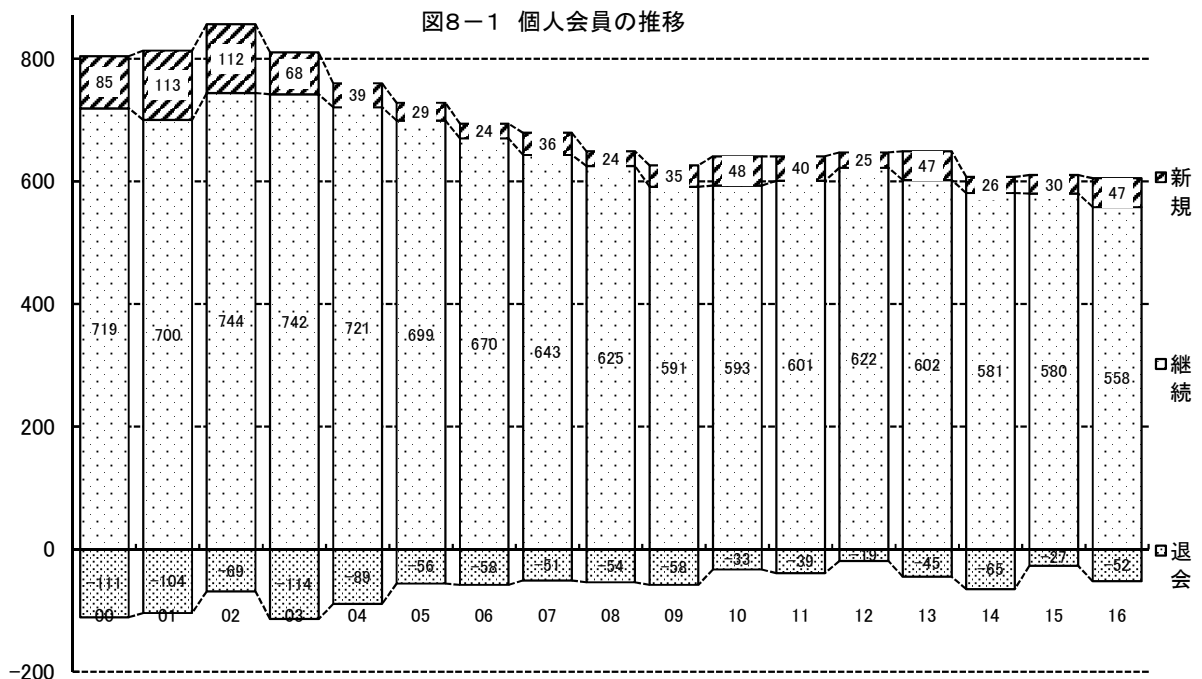
（1）会員の現況

協会は、その目的に共感する市民が“個人会員”として事業を支える一方、趣旨に賛同いただいた企業などに“賛助会員”として資金的援助を受けている。個人賛助会員は、新規入会2人、個人会員からの変更2人で計4人となった。新規入会は、個人会員・個人賛助会員あわせて51人で昨年度比17人増となったが、数年に渡って会費納入がない定款退会者含め退会者が52人となり、全体として昨年度比5人減となった。今後、事業関係者などに積極的に声を掛けるなど対策を練ることが必要となる。一方、団体賛助会員（企業）では、会員の継続が困難な状態が続いており1社・団体が退会した。なお特別会員は協会創設以来、多額の助成をいただいている（財）皓養社・前理事長 中納久昭氏である。〔下表で（）内は昨年度実績〕

表8-1 2016年度の会員の異動状況（カッコ内は前年同期実績）

	2016年3月	新規加入	退会	2017年3月
特別会員	1人	0人	0人	1人
個人会員	610 (607)人	47 (30)人	52 (27)人	605人
（内、生涯会員）	24人	4人	3人	25人
個人賛助会員	10 (8)人	4 (4)人	0人	14人
団体賛助会員（企業）	48 (50)社	0 (1)社	1 (3)社	47社
団体賛助会員（非営利）	9 (9)社	0 (0)社	0 (1)社	9社
合計	678 (676)	51 (35)	53 (31)	676

※個人会員から個人賛助会員への変更2人は、個人会員退会・個人賛助会員新規加入として計上している。



（2）会員・寄附者拡大に向けた努力**① 会員限定通信誌『キャンパス・ニュース』の内容**

市民活動スクエア「CANVAS谷町」と大阪ボランティア協会の「今日」をお届けするマガジンとしてリニューアルした「キャンパス・ニュース」を会員に隔月で送付した。

4・5月号	団体紹介／CANVASクイズ／アソシエーター中堅研修を開催しました「事業運営のための正しいプロセスを学ぶ～インバスケ・ゲーム～」／協力感謝／たにまちっくコーナー／CANVASエピソード
6・7月号	団体紹介／大阪ボランティア協会 災害支援委員会／CANVASクイズ／事業計画会議報告／事務局体制紹介（事務局長交代のあいさつ含む）／たにまちっくコーナー／CANVASエピソード／協力感謝
8・9月号	定期会員総会・記念講演会／団体紹介／CANVASクイズ／定期会員総会報告／たにまちっくコーナー／フェイスブックだより／CANVASエピソード／協力感謝
10・11月号	団体紹介／CANVASクイズ／大阪ボランティア協会委員会・チーム紹介その1／協力感謝／フェイスブックだより
12・1月号	団体紹介／大会議室調整大会／CANVASクイズ／大阪ボランティア協会委員会・チーム紹介その2／CANVASエピソード／協力感謝／退職・入職のご挨拶／「市民セクター研究会」第1回お知らせ
2・3月号	団体紹介／一泊創出会議報告／協力感謝／フェイスブックだより／CANVASエピソード

② 寄附および会費自動納入システムの運営

クレジットカード・オンラインシステム、近畿労働金庫、郵便貯金から寄附や会費の引き落としが可能な態勢を整えている。16年度末の利用会員は、近畿労働金庫：3人、郵便貯金：25人、クレジット：38人である。

③ 寄附者拡大に向けて

2016年4月に発生した「熊本・大分における地震災害」に関する支援金の協力をお願いし、669,435円の寄附をいただいた。詳細は第4章に記載。また、協会へ募金箱の寄贈を1件いただいている。

2. 組織活動**（1）理事会（第74～77回）の開催**

【第74回】開催日：2016年5月27日（金）、出席理事：10人（書面出席5人）

議案：①2015年度事業報告および決算報告、②2016年度補正予算、③定款の変更について、④マイナンバー法の施行にかかる基本方針、規定等の策定（理事長専決事項の追認）、⑤就業規則の改正

【第75回】開催日：2016年12月16日（金）、出席理事：10人（書面出席5人）

議案：①2016年度上半期事業報告・収支報告、②2016年度下半期事業計画・第二次補正予算、③定款の変更、④評議員選任・解任委員会規則、⑤評議員選任・解任委員の選任、⑥社会福祉充実残額の中間決算

【第76回】開催日：2017年3月6日（月）、出席理事：10人（書面出席5人）

議案：①評議員の候補者選定について

【第77回】開催日：2017年3月30日（木）、出席理事：10人（書面出席5人）

議案：①新定款の施行にともなう各規程の改定、②2017年度事業計画および予算

（2）常任理事会の開催

協会の経営や労務面の課題を日常的に審議し、毎月の常任運営委員会の議案整理と理事会に提案する事項を審議するため、理事長、常務理事、常任運営委員長、事務局長で「常任理事会」を設置。毎月、開催した。

（3）評議員会（第70～72回）の開催

【第70回】開催日：2016年5月27日（金）、出席者：15人、欠席者：6人

議案：第74回理事会①～⑤に付した議案および、⑥理事の一部改選について

【第71回】開催日：2016年12月16日（金）、出席者：14人、欠席者：7人

議案：第75回理事会①～⑥に付した議案

【第72回】開催日：2017年3月30日（木）、出席者：14人、欠席者：7人

議案：第77回理事会①～②に付した議案および、③理事の就任と退任について

（4）監事会の開催

開催日：2016年4月26日（火）、出席監事：3人

内容：「2015年度事業報告・決算報告」に関し、事業・経理・組織運営面の監査を実施した。

（5）会員総会（2016年度定期総会）の開催

開催日：2016年5月22日（日） 会場：市民活動スクエア「CANVAS谷町」大会議室

出席：267人（当日参加43人＋委任状提出224人）

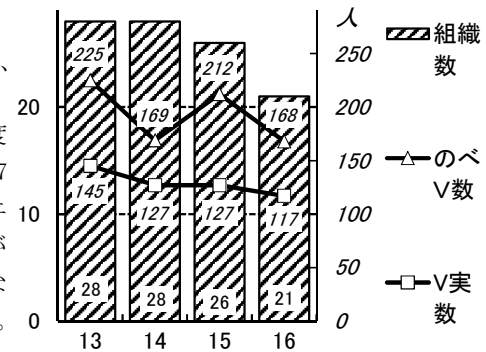
内容：第1部＝記念講演会「できるやんか！一人間って欠けているから伸びるんやー」講師：中井 政嗣（千房株式会社代表取締役）／第2部＝①アソシエーター委嘱状交付、常任紹介、②2015年度事業と決算報告（案）、③2016年度事業と予算計画（案）／第3部＝会員懇親会

3. 市民参加による事業推進

協会事業への市民参加の状況（「参加の場」（チームなどの組織数）と、参加するボランティアのべ人数）を図8-2に示す。

16年度の協会で活動するアソシエーターは、のべ221人（昨年度277人）〔うち、ボランティアのべ168人（同212人）〕、実数117人（同127人）とのべ人数は減少した。15年度は50周年に向けて一人のアソシエーターが複数の委員会やチームに携わり、のべ人数が大幅に増えた分がそれ以前に戻ったことが原因と考えられる。新たにアソシエーターになった人は13人であったが、今後も更なる人材発掘・育成が必要である。

図8-2 事業への市民参加



（1）一泊創出会議、一泊事業計画会議（アソシエーター総会）の開催

事業活動と組織運営をアソシエーター全員が参加できる場で検討するため2回の合宿を開催した。「創出会議」では、「行動宣言」に基づいた協会の事業戦略を検討、「事業計画会議」ではチーム、委員会、事務局など全事業主体が、それぞれでまとめた15年度実績の評価と、16年度の事業計画・予算案を提案。小グループごとに意見交換と質問・評価シートの記入を行うとともに、全体での討議を通じて、事業の質の向上を図った。協会の事業計画立案はボトムアップ型のスタイルとなっている。

◎一泊創出会議：2016年11月5日（土）～6日（日）、30人参加、場所はホテルコスモスクエア国際交流センター。【第1部】『社会を変える！』考え、生み出す、そのために」（永井事務局長）、ゲスト：コミュニティ・ユース・バンク momo 代表理事 木村真樹 【第2部】「社会的孤立の課題に市民のかかわりを」（事務局）、「災害：協会BCPをもとに、どのようなかかわりができるか」（災害支援委員会）

◎一泊事業計画会議：2017年2月18日（土）～19日（日）、36人参加、場所は新大阪ユースホステル。センター別にまとめて各チーム・委員会ごとの事業報告と計画、社会的孤立の抑制に関する具体的な取り組みについてプレゼンテーションを行い、意見交換を行った。

（2）常任運営委員会（委員長・上林康典、委員V13人、職員2人）

協会事業全般に関し、ボランティアスタッフによる日常的な経営協議の場として組織。財務検討の場としても機能している。16年度は、毎月開催した（定例日 原則第4火曜、19時～21時、CANVAS谷町）。なお、委員でない事務局員も発言可能なオブザーバーとして参加している。

<委員> 上林康典(委員長)、井上小太郎、谷水美香(以上、副委員長)、岡本友二、楠 正吉、名賀 亨、西 誠、西江孝枝、早瀬 昇、藤原麻佐代、増田宏幸、水谷 綾、村岡正司、森本 聡、永井美佳、岡村こず恵、(委嘱者) 牧里毎治(オブザーバー) 岡本榮一、江渕桂子、梅田純平、椋木美緒、林 寛人、小林政夫、鶴飼健生、高宮城亜矢香

<主な審議・協議内容> 事業計画会議の振り返り、会員総会の企画運営と振り返り、熊本地震に対する支援方針と支援活動の展開、収支バランス改善のための対策、『ポスト50年』行動宣言をふまえて「第5次将来ビジョン・答申(案)」の検討、「サロン・ド・ボランティア(仮)」の新設と運営主体、改正社会福祉法を受けた新組織づくり、創出会議の議長団選出及び企画と振り返り、企業の新規事業受託を想定した体制、「全国レガシーギフト協会」の賛同人に協会になることの是非、「アソシエーター満足度調査」の実施と「アソシエーター研修」の持ち方、常任運営委員会の中間総括及び16年度評価と17年度計画・重点項目(PDCA)、一泊事業計画会議の議長団選出及び企画、総会記念講演会の講師候補者の選定、17年度に向けた助成金申請計画、17年度の事務局体制と職員採用計画、17年度常任運営委員の候補者選出 など

（3）法人コミュニケーションチーム（チーフ・井上小太郎、V4人＋職員2人）

団体賛助会員・非営利会員とのコミュニケーションを強化し、関係の維持・拡大を目指すため、財務・基金運営委員会から分離して2014年度に新たに設置。年3回開催した。

<委員> 井上小太郎（チーフ）、関口 義弘、早瀬 昇、森田正紀、永井 美佳、岡村こず恵

<主な協議内容> 団体賛助会員・非営利会員の訪問分担、熊本地震支援の報告についてなど

（4）ボランティア・NPO推進センター運営委員会（委員長・谷水美香、V10人+職員7人）

協会事業（ボランティア・NPO関連事業）全般に関し、ボランティアスタッフによる日常的な運営協議の場として組織している（定例日 原則第1火曜、19時～21時、CANVAS谷町）。NPO支援の見直しや今後の在り方について、考えていくためにNPO5団体を訪問しヒアリングを行った。またボランティア・NPO関連事業、CANVAS谷町（貸会議室）の運営についても検討を行った。

<委員>谷水美香(委員長)、今村澄子、青山織衣、岩本裕子、川畑恵子、杉浦健、杉本亜希子、筒井のり子、南多恵子、村岡正司、永井美佳、梅田純平、岡村こず恵、小林政夫、高宮城亜矢香、林寛人、椋木美緒
<主な協議内容>VNC事業の骨格と方向性、ボランティア・NPO関連事業の検討、貸会議室支援メニューなど

・コーディネーション部会（部会長・岩本裕子、V7人+職員5人）

運営委員会のテーマ別部会の一つ。主としてコーディネーション事業の戦略を検討したり、事業の進捗管理、評価等を担う。

<委員>岩本裕子（部会長）、青山織衣、今村澄子、谷水美香、筒井のり子、南多恵子、永井美佳、岡村こず恵、椋木美緒、高宮城亜矢香、小林政夫

（5）企業市民活動推進センター運営委員会（委員長・井上小太郎、V6人+職員2人）

企業市民活動の推進を図るため、企業市民活動推進センター（CCC）の戦略と事業全般の企画立案、推進、評価を行うために設置。16年度は、年6回の運営委員会を開催。

<委員>井上小太郎(委員長)、江本雅朗、楠正吉、小林義彦、原田京子、平瀬有香、永井美佳、岡村こず恵
<主な協議内容>16年度のCCC事業の進捗確認、今後のCCC事業の展開、CSR基礎研修の企画検討、16年度の事業評価と17年度計画など

（6）災害支援委員会（委員長・楠正吉、V6人+職員3人）

大地震や異常気象による災害が予想される中、協会としてどう備え、どう対応するかを考える部門として、「災害支援委員会」を2014年に新設。16年度は委員会を10回、「SUG」ワーキンググループを2回開催した。

<委員>楠正吉(委員長)、紺屋仁志、西誠、森本聡、水谷綾、永井美佳、岡村こず恵
(ワーキングメンバー) 入江由美子、(オブザーバー) 井上小太郎、梅田純平

<主な協議内容>熊本地震支援の方針、災害支援センター（仮称）運営方針、災害時に迅速に動けるボランティアチーム「SUG」メンバーによるワーキンググループ企画“チーム72時間”、災害時の協会のBCP（事業継続計画）のあり方検討など

（7）ボランティアリズム研究所運営委員会（委員長・岡本仁宏、V7人+職員2人）

『ポスト50年』行動宣言を受けて開発した3つの新規事業について主に協議。16年度は8回開催した。

<委員>岡本榮一(所長)、岡本仁宏(委員長)、井上小太郎、工藤宏司、藤井渉、牧口明、早瀬昇、永井美佳、影浦弘司
<主な協議内容>リサーチ&アクション・セミナー、『ボランティア・NPO・市民活動年表』を読む会、市民セクターの次の10年を考える研究会【第2幕】の企画など

（8）チーム・専門委員会などの活動

ボランティアスタッフが直接推進している事業は、推進チーム、専門委員会などを組織して企画・運営している。各チーム、専門委員会の名称などは以下のとおりである。

A. 推進チーム（5チーム、ボランティアのべ61人）

- ①. ボランティアスタイルチーム（チーフ・玉利数正、V18+職1人。月1回）
- ②. CANVAS谷町のデザインチーム「たにまちっく」（チーフ・谷水美香、V8+職1人。月1回）
- ③. 裁判員ACTチーム（チーフ・磯野太郎、V21+職1人。月1回）
- ④. 「ウォロ」発送チーム（チーフを決めず、V10+職2人。年6回）
- ⑤. ボランティア・市民活動ライブラリー運営チーム（チーフ・久保友美、V4+職1人。月1回）

B. ワーキングチーム（1チーム、ボランティアのべ2人）

- ①. SUG（すぐ動きますグループ）ワーキング（チーフ・森本聡、V2+職2人。随時）

C. 専門委員会（5委員会、ボランティアのべ53人）

- ①. アソシエーター活性化委員会（委員長・上林康典、V3+職1人。随時）
- ②. 「ウォロ」編集委員会（委員長・増田宏幸、V27+職3人。月1回）
- ③. 「CANVAS NEWS」編集委員会（委員長・西江孝枝、V4+職1人。隔月1回）

- ④. フィランソロピー・CSRリンクアップフォーラム幹事会（委員長を決めず、V9+職2人。隔月1回）
- ⑤. CRM（コズリレーテッドマーケティング）研究会（座長・楠 正吉、V10+職1人。随時）

（9）アソシエーター研修の充実

「アソシエーター活性化委員会」が企画運営主体となり、アソシエーター対象の研修事業を充実させている。15年度から復活した「アソシエーター中堅研修」については、気軽に参加できるプチ研修として実施。チームの枠を超えて、事業運営に役立つ研修を実施した。

- ・アソシエーター基礎研修：2016年7月31日（日）、参加者15人+講師5人。アソシエーターになって概ね2年以内の人を対象とし、協会の基礎的な情報を理解し、他のチームのメンバーと交流を深める目的で研修を行った。
- ・アソシエータープチ研修：2016年12月7日（水）、10人参加。アソシエーター自身が講師となり、全アソシエーター対象とした平日の夜2時間で気軽に学ぶことができるプチ研修を企画。第1回目として、西江孝枝を講師に「Welcome to ボラ協」を実施し、新たに協会に訪れる人が安心して参加できる場づくりのプランを出し合った。



第1回アソシエータープチ研修

4. 事務局体制の充実

（1）職員研修の実施

- （1回目）開催日：2016年7月3日（日） 会場：CANVAS谷町 参加者：職員9人
内容：担当事業の現状評価と今年度末の目標、テレワークを生かした協会の新しい働き方とは
講師：原田京子（株）シータス&ゼネラルプレス）
- （2回目）開催日：2016年8月12日（金） 会場：CANVAS谷町 参加者：職員7人
内容：協会のITリテラシー強化に向けて
講師：紺屋仁志（NTTコミュニケーションズ（株）、大阪ボランティア協会災害支援委員）
- （3回目）開催日：2016年12月26日（月）～27日（火） 会場：エコリゾート「赤目の森」 参加者：職員6人
内容：将来ビジョンの事業への落とし込み/組織の方向性の共有と現状確認/相互理解ワークショップなど

（2）事務局マネージャー会議の設置

事務局運営の円滑化をはかるため、事務局長、事務局次長の2人で、随時開催。事務局体制の検討や職員研修の企画、労務や法人事務、事務局会議での検討事項の整理にあたった。

（3）2016年度の事務局体制（以下の業務担当分野の解説で、「ボランティア」を「V」と略記）

2016年度に事務局業務に従事した有給スタッフとボランティアは、以下のとおりである。常勤職員10人、非常勤職員5人であり、雇用形態別では正職員7人、嘱託職員4人、アルバイト4人であった（以下、敬称略）。

早瀬 昇（常務理事）

【正職員】永井美佳（事務局長・統括会計責任者・公正採用選考人権啓発推進員；全体統括・渉外、法人事務・総務、財務・給与、人事・労務管理、常任理事会・常任運営委、CCC統括、CSR基礎研修、企業企画相談、裁判員ACT、3.11 実行委、CANVAS統括等）、岡村こず恵（事務局次長・個人情報取扱管理者；CCC運営委、フィランソロピー・CSRリンクアップフォーラム、災害支援統括、災害時のスペシャルニーズ事業、おおさか災害支援ネットワーク、法人コミュニケーション、労務等）、影浦弘司（ボランティアリズム研究所運営委、調査セミナー、年表本を読む会、セクター研究会、ウォロ編集・発送・販売管理、出版統括、積水助成、ライブラリー、役員会、法人事務・総務等）、江渕桂子（6月より産休育休。CCC相談、事業報告書等）、梅田純平（V・NPO推進センター統括、NPO運営・寄附寄贈相談、真如苑、SAVE JAPANプロジェクト、武田薬品工業NPO支援事業、Vスタイル、大経大V実習、個人会員・寄附、ウェブサイト更新、IT・PC管理等）、椋木美緒（市福祉Vコーディネーション統括、Vしたい・求む相談、阪急阪神助成・広報支援、講師派遣、アソシエーター活性化委等）、高宮城亜矢香（8月まで。Vしたい・求む相談、コーディネーター基礎研修等）

【嘱託職員】塩谷邦子（出納職員；経理、社会保険等）、林寛人（4月より入職。CANVAS谷町全体運営・利用団体支援、たにまちっく、CANVASニュース編集、P登録、NPOほいす発行、V保険、後援名義等）、小林政夫（9月より入職。市福祉Vコーディネーション、Vしたい・求む相談、KVネット、はじV、JVCA3級検定協力、大学VC協議会、災害時のスペシャルニーズ事業等）、鶴飼健生（4月より入職、6月より退職、3月まで。ウォロ編集等）

【アルバイト】山下輝夫（CANVAS窓口、新聞PDF化）、岡村豊子（出版・ウォロ販売管理、新聞PDF化、庶務等）、松尾里香（CANVAS窓口、KVネット等）、湯井恵美子（9月より入職、3月まで。災害時のスペシャルニーズ事業）

【ボランティア】[事務局支援（新聞切抜支援）] 緒方千代子、岡本駆、平手清、山科圭子

この他にも日常的に多くの方々にボランティアとして事務局業務にご協力いただきました。ありがとうございます。